

浜 私 幼

横浜市幼稚園協会 協会報 No277

公益社団法人 横浜市幼稚園協会 発行
 〒221-0055
 横浜市神奈川区大野町 1-25
 横浜ポートサイドプレイス アネックス 5F
 電話 045 (534) 8708
<http://www.kids-yokohama.or.jp>
 編集 横浜市幼稚園協会広報部
 発行者 木元 茂
 印刷所 株式会社横濱大氣堂

子育て教育
 相談室より

「子どもが教えてくれること」

横浜市幼稚園協会

子育て教育相談室相談員 大森 由紀

みなさん、こんにちは。早いものでもう 12 月。今年はどうな年だったでしょうか。

幼稚園の送り迎えをしていると毎日の空模様が気になるものですが、今年は春から夏にかけての暑さ・秋の台風と、お天気対策が欠かせない 1 年でした。特に 9 月に首都圏を直撃した台風は、関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力と報じられていた通り、ここ横浜でもその影響は大きいものでした。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

わが家の近所の公園でも、直径 5、60 センチはあるという大木が根元付近からもの見事になぎたおされ、前日までとは一変してしまった光景に衝撃を受けました。そこを毎日の遊び場としていた子どもたちも一緒にショックを受けており、しばらくはその話題でもちきりでしたが、子どもたちの関心はショックだけにとどまらないのが大人と違うところです。これまで自分の頭上高くにあり、見ることのできなかった木の上の方の葉っぱの様子は「こんな風になってたんだ〜!」、折れた大木が整備されてく様子を「今日はこんな風になっていたよ〜」と興味津々に眺め、口々に話しておりました。いまや倒れた大木は切り株に姿を変え、公園の一部として当たり前のように子どもたちに受け入れられています。このように衝撃的な出来事も、関心をもってかわり、柔軟に受け入れていく子どもたちの姿はたくましくあり、頼もしく感じました。

さて、どれだけ準備をして臨んでも予想外のことが起きてしまう、というのは子育てにもいえることではないでしょうか。

こんな子に育てて欲しい、わが子をこんな風に育てたい。親はいろいろな願いを持って子育てをしています。

育児に関する情報は本・インターネット・メディアなどいろいろな形で手に入るようになり、便利な世の中になりました。大家族や近所付き合いが密なのが当たり前で生活の中にいろいろな年代の子どもと接する機会があり、自然に子育ての知恵を得られた頃とは時代が変わってきています。お母さんやお

父さんたちがいろいろなツールを駆使して子育てに関する情報を集め、心の準備をして子育てに臨む、というのはある意味で、今の時代には自然に必要な育児の形なのかもしれません。

でもそうして集めた情報からだけでは、やがて個性が芽生えてきた子どもたちの育ちには対応しきれないことも起きてきます。情報が間違っているわけでもなく、その子の個性や育ちのペースに合っていないからうまく役には立たないということがありますね。また、世間ではよいとされている育児の情報がわが子に合わなかったことに軽くショックを覚える、ということもあるかもしれません。予想外の出来事に心が折れそうになった時には、ぜひ、冒頭に紹介した子どもたちの姿を思い出してみてください。折れた大木さえも、次の瞬間には新鮮に受け止め、受け入れ、また新たな関わりを持っていくたくましさ。日々変化していく子どもたちを育てる私たちこそ、この柔軟さ、たくましさを忘れずにいたいものです。

年が明ければ少しずつ、次の学年のことを意識する機会も増えてくるかと思えます。何事も備えあれば憂いなしではありますが、子育てに関していえば、備えて臨むことと起きていることに合わせて変えていくことの間を、柔軟に行ったりきたりできることが大切なと思います。もしも道に迷われた時はどうぞお電話ください。ほどよい地点を一緒に探していきましょう。

子育て教育相談室

【相談日】

毎週火曜日・金曜日（年末年始、祝祭日を除く）

【受付時間】

10時~12時 13時~15時



臨床心理士が、あなたと一緒に考えます



ひとりて悩まないで...

相談専用ダイヤル

045-534-8837

公益社団法人横浜市幼稚園協会 ☎ 045-534-8708

<http://www.kids-yokohama.or.jp>

第2回 教員研修会報告 10月16日(水)

第1分科会

テーマ 50年絵本を描いてきて学んだこと

講師 ■ 西巻 茅子先生 (絵本作家)

会場 ■ 磯子公会堂

西巻茅子さんの代表作『わたしのワンピース』は、男女を問わず子どもたちに愛されています。この絵本を出版してから、50年！その間に描いた本は150冊！絵の力でページをめくりたくなる本を作りたくて出来たのが、「私のワンピース」でした。出来た当時は花畑を歩いただけでワンピースが花模様になるのがおかしいという人たちがいる中、「いい本が出来ましたね」とハガキをくれたのが福音館の松井直さんで、とても嬉しかったそうです。4、5年後、朝日新聞の書評で「常に図書館にない程、子どもの好きな本」と紹介され、認められていったそうです。絵本の読者である幼い子どもたちの絵を見る目、絵を描く力の確かさに敬意を払い、尊敬を込めて絵本を描き続けているとのこと。子どもが心の中で楽しく遊び豊かに、育ててほしいという西巻茅子さんの願いが伝わってくる研修でした。『ちいさなきいろいかさ』で第18回産経児童出版文化賞受賞。『えのすきなねこさん』で、第18回講談社出版文化賞絵本賞受賞。

東京芸術大学工芸科卒業。学生時代からリトグラフ、エッチングを手がけ、日本版画家協会展新人賞、同奨励賞受賞。(日吉台光幼稚園園長 岩本 洋子)



第2分科会

テーマ もっと気軽に手作りおもちゃ ~手間はかけずに楽しんで~

講師 ■ 佐藤 路先生 (こどもの手作りおもちゃ作家)

会場 ■ 鶴見公会堂

第2分科会は、こどもの手作りおもちゃ作家、佐藤路先生を講師にお迎えして、「もっと気軽に手作りおもちゃ~手間はかけずに楽しんで~」というテーマで研修を行いました。講演では、先生の作ったおもちゃでお子さんが遊ぶ姿の映像をスクリーンに映し、子育て中に子どもとの対話の中で自然に生まれた、身近な素材を使って気軽に作ることでできるおもちゃが数多く紹介され、参加者と共に実際におもちゃを作りながら制作のこつを教えていただきました。先生はお風呂でどんぐりが浮いたり沈んだりする様子をお子さんが楽しむ姿を見て、子どもにとってはお金をかけたおもちゃではなくてもこんなに楽しく遊べるんだという事を経験し感動したことがおもちゃ作りの原点となり、子どもの目線になって試行錯誤をしながら一緒に楽しんでおもちゃを作るようになったそうです。制作だけではなく、子どもとの関わり方や、子どもを見る目に対するたくさんのヒントがちりばめられていた、とてもほっこりとする講演会となりました。

(青葉幼稚園園長 安井 隆道)



第3分科会

テーマ 子どもの姿の読み取りと保育者の援助

講師 ■ 中野 圭祐先生 (國學院大学人間開発学部子ども支援学科 助教)

会場 ■ 南公会堂

第3分科会では、学芸大学附属幼稚園で長年保育者をされていた中野圭祐先生をお呼びして、保育者の援助について、ご自身の実践を踏まえて話していただきました。今年、保育者から養成校の先生になられたばかりということもあって、保育者としての自分について、飾ることなく、そして赤裸々に語って頂くことができました。

特に就職して2年目、3年目の時に、担任としてかかわった、岩波映画「3年間の保育記録 一人の子どもの入園から卒園まで」というビデオでは、映像に映る若い時の自分の保育に、今の自分からこのように伝えたいなど、中野先生が語るエピソードの中に、子ども理解や保育者の援助を考えさせてくれるヒントがたくさんありました。映像については、子どもの困った場面があると、どう関わっていいか上司にアドバイスをもらう前に、岩波映画に連絡が行き、そこで自分がどう子どもに関わるかを撮影されていたというような裏話もお聞きすることができました。

中野先生からは実際の記録も見せていただき、改めて、子どもを

理解することの大事さや、そして子どもを理解するための記録についても話していただきました。各参加者にとって、講演そのものが当事者の語りであったこともあって、学びの多い研修会となったのではないのでしょうか。(港北幼稚園園長 渡邊英則)



インフルエンザについて

上條整形外科皮膚科医院 上條 正勝

インフルエンザの時期となりましたが、こんな事を知っていたらいいなと思うことを少し上げてみました。

インフルエンザは感染症ですが、インフルエンザの語源はイタリア語のインフルエンツァといい、はやらせるという言葉で、英語のインフルエンサーは影響力のある人という意味です。インフルエンザは風邪症候群の中に含まれます。皆さんもよくご存知だと思いますが、風邪症候群の症状は、発熱・喉の痛み・鼻水・関・頭痛などがあります。風邪症候群の8～9割は、ウイルスが原因と言われており、1～2割が細菌性の風邪です。

<ウイルスと細菌の違い>

ウイルスは、自ら増殖することはできないので、生物の細胞に入り込み自分のコピーを次々に作り増殖します。細菌(ばい菌)は、自分の細胞を分解したりして増殖します。

ウイルスと細菌の大きさを比較してみると、ウイルスは20～30ナノメートルであり、電子顕微鏡でしか見られませんが、細菌は1マイクロメートル程度(1マイクロメートルは1mmの1/1000)で大きさの違いがわかると思います。

[ウイルスによる主な病気]

インフルエンザ、風疹、ヘルペス、おたふくかぜ、しょう紅熱、ロタウイルス、エイズ、肝炎、エボラ出血熱など。

[細菌による主な病気]

とびひ、結膜炎、中耳炎、肺炎、膀胱炎、結核、咽頭炎、水虫など。

<インフルエンザの感染経路とその予防法>

[飛沫感染]

インフルエンザにかかった人は、1回の咳で200万個のウイルスを吐き出すといわれています。5メートル四方に広がるといわれ、8畳間の空間に飛び散ります。そして健常者の、のどや鼻の粘膜に付着します。ほとんどがこのケースで感染して広がっていきます。対策としては、うがい・手洗い・洗顔・鼻洗い(普通の人ではできない)

などが効果があります。

[接触感染]

ウイルスがついている物を触った手で物を食べたりすることで感染します。対策としては、外から帰った後や食事の前に手洗いをする事です。

[空気感染]

インフルエンザウイルスは、低温・乾燥している場所では2日ほど感染力を持って生きていられるといわれていますので部屋を高温、多湿にすることで予防できます。

[インフルエンザワクチンの効果]

最強の予防法は何と言っても、インフルエンザワクチンの注射です。夏に、流行ったインフルエンザウイルスを不活化してワクチンをつくります。注射後、約2週間で免疫ができ、効果は5～6か月続くといわれています。2回接種することにより、より強力な免疫ができます。

[免疫力アップの食べ物]

1. ハチミツ：ハチミツは甘くて美味しいばかりでなく、ビタミンやミネラルが豊富で殺菌力があり、ダイエット効果、腸内細菌ビフィズス菌を増やす、老化防止、肌のうるおい、エネルギー源と効果が多い。※厚生労働省では赤ちゃんがハチミツを食べることによって乳児ボツリヌス症にかかることがあると警告しています。
2. ニンニク：ニンニクはがんの予防や免疫力アップの筆頭に挙げられています。
3. 獣肉・鶏肉・魚肉：タンパク質は白血球(細菌を殺す)やリンパ球(ウイルスと戦い殺す)の元になります。
4. 緑黄色野菜：赤や黄色、緑、黒、ブルーなどの色の濃い野菜はアンチエイジング効果や免疫力アップです。
5. ムチンの多い野菜：ムチンとは粘素とも言われ細胞の保護や潤滑物質としての役割を担っており粘膜の保護を行いますので風邪症候群の予防になります。なめこ、モロヘイヤ、レンコン、オクラ、長芋、納豆、ネギなどに含まれます。

これからの季節、風邪症候群にかからないためにも、普段から手洗い・うがいの習慣や室内の温度や湿度の調節、また食生活に気を配る事が大事なことだと思います。

Congratulation



秋の叙勲 瑞宝双光章
金子 禎 先生

学校法人ひまわり学園 理事長
幼保連携型認定こども園
ひまわり幼稚園 園長

※瑞宝双光章：
国及び公共の公務等に長年にわたり従事し、功績を挙げられた方に対して、国家が表彰する勲章。

受賞おめでとうございます

令和元年度神奈川県私立学校教育功労者表彰 受賞

苅込 大 先生

学校法人大空学園 理事長
横浜さがみ幼稚園 園長

※神奈川県私立学校教育功労者表彰：私立学校教育の振興を図るため、私立学校の教職員、校長、園長、理事長及び設置者等を対象として、他の模範となる特に顕著な功績をあげた教育功労者を表彰することを目的とする。



横浜市父母の会連合会 活動報告

横浜市幼稚園協会と横浜市幼稚園父母の会連合会共催の保護者を対象とした父母セミナーが開催されました。

第27回父母セミナー開催

令和元年9月13日(金) 会場：港北公会堂

講師：収納王子コジマジック氏

講演テーマ：収育 ～お片づけができる子どもにする方法～

収納王子コジマジック氏
Instagram:

<https://www.instagram.com/kojimagic2009/>



▲収納王子コジマジック氏

■一般社団法人日本収納検定協会代表理事・ケイスタイル株式会社代表取締役・松竹芸能タレント
●片づけ・収納・住まいに関する確かな知識と実績を持つプロでありながら、松竹芸能で25年の芸歴を積んだ、主婦層に圧倒的な支持を受ける男性ライフスタイル系タレントのパイオニア。

収納に“笑い”を取り入れたセミナーが話題となり、年間講演依頼数は200本以上、著書は累計40万部を超える。

神奈川県／10月1日より自転車損害賠償責任保険への加入を義務化

神奈川県
神奈川県内で自転車を利用する皆様へ

自転車損害賠償責任保険等への加入が10月から義務化されます。

子どもが自転車を運転する場合は保護者が加入しましょう。

自転車事故の高額賠償事例約9,500万円 (平成25年7月神戸地方裁判所)

自転車の安全で適正な利用と自転車事故の被害を速やかに救済し、加害者の経済的負担を軽減するため、県では、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を4月から施行しています。

①自身の保険加入状況はホームページをご覧ください 神奈川県 自転車条例

自転車の安全で適正な利用と自転車事故の被害者を速やかに救済し、加害者の経済的負担を軽減するため、県では、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を4月から施行しています。

自転車事故の高額賠償事例約 9,500万円

平成25年7月神戸地方裁判所

※ご自身の保険等加入状況はホームページをチェック

神奈川県自転車条例

検索

編 集 後 記

横浜市幼稚園協会の創立50周年記念誌をキャビネットから取り出しページをめくる。先達の写真を見ていると、もうお目にかかれぬ方もいるけれど、いろいろなことを語りかけてくれる。「頑張っているか」、「子ども達は幼稚園で楽しく過ごしているか」などなど…。多くの先生方に多くのことを教えて頂き、今があるんだなあと思ふ。

記念誌を閉じると、急に園庭から楽しそうに遊んでいる子ども達の歓声が聞こえてきた。今日も幼稚園の、そして園児一人一人の新しい1ページが始まった。

この1年ありがとうございました。来る令和2年が皆様にとって更に素晴らしい1年でありますように。

(広報部 和田 嘉明)